

## 平成30年度の特別支援教育の取組について

### 1. 特別支援教育の体制

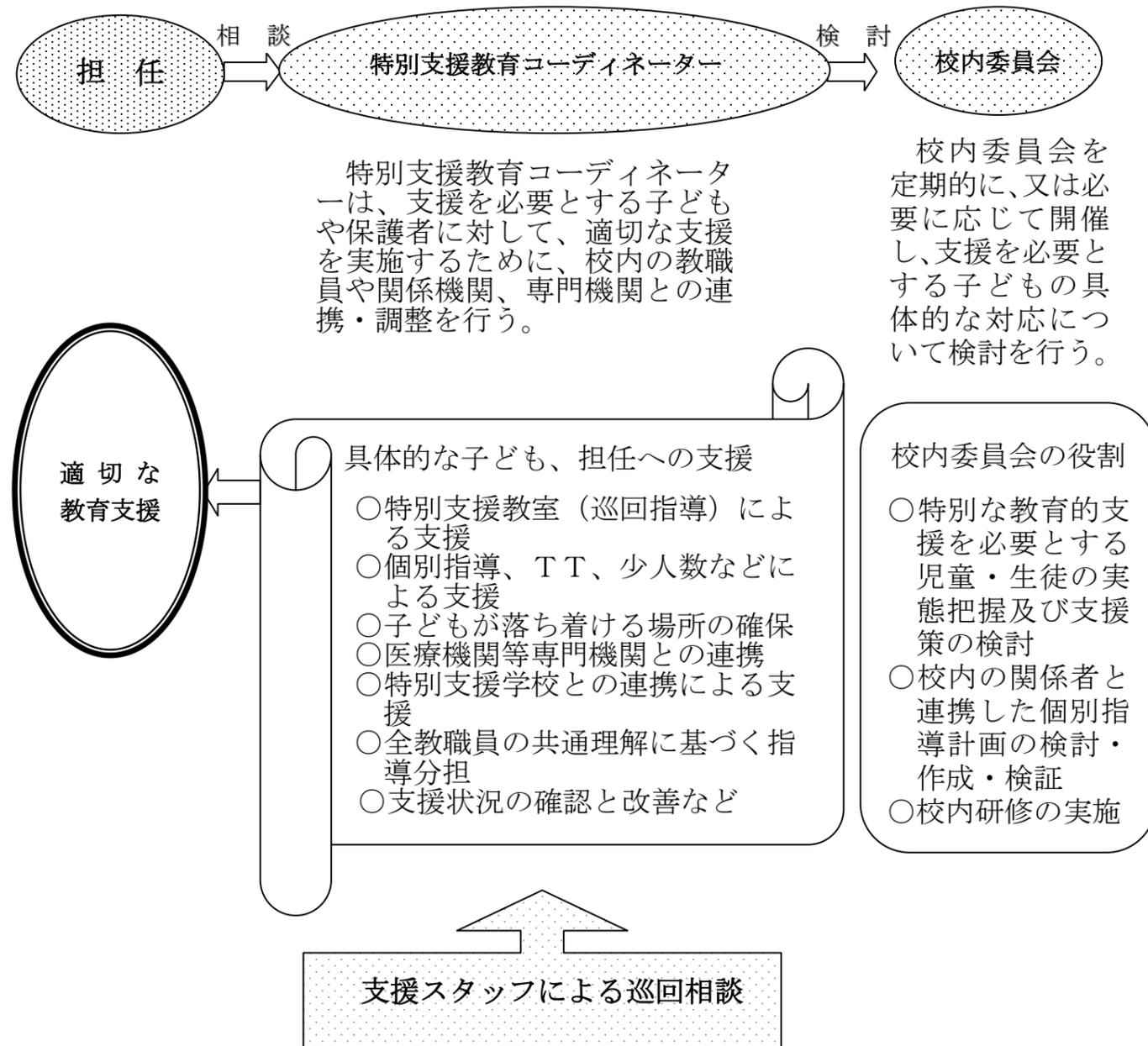
発達障害を含む障害のある幼児、児童・生徒に対して、一人ひとりの教育的ニーズを把握し適切な教育や指導を通じて必要な支援を行っている。

全小・中学校で校内委員会を設置し特別支援教育コーディネーターを指名している。

また、教育委員会事務局に、臨床心理士、医師等で構成される支援スタッフを設置し、区立幼稚園、小・中学校で巡回相談を行っている。

## 2. 一人ひとりの教育ニーズに応じた指導を行うためのしくみ

### (1) 校内体制



### (2) 副籍制度

都立特別支援学校に在籍する児童・生徒のうち、原則として希望する児童・生徒が、居住する地域の小・中学校に副次的な籍(副籍)を持ち、学校行事等様々な交流を通じて地域とのつながりの維持・継続を図っている。

### (3) 介助員の配置

特別支援学級及び小学校に介助員を配置している。また、通常の学級に在籍する身体的な障害のある児童・生徒について安全確保を図るため、介助員を配置している。

### (4) 特別介助員の配置

通常の学級に在籍する障害のある児童・生徒について安全確保を図るため、校外学習や水泳時(体育授業・夏季休業日)等に特別介助員を配置している。

### 3. 発達に課題のある児童に対する特別支援教室における巡回指導（小学校）

#### （1）特別支援教室における巡回指導

平成28年度より区内の全小学校に特別支援教室を設置し、発達に課題があり特別な教育的指導が必要な児童を対象として、教員が児童の在籍校に出向いて指導を実施している。

#### （2）拠点校、巡回校および利用児童数 （単位：人）

	拠点校	巡回校数	担当校	利用児童数 （4月現在）			巡回指導教員数		
				28 年度	29 年度	30 年度	28 年度	29 年度	30 年度
1	中野本郷	5	中野本郷、桃園、向台、南台、みなみの	25	39	50	4	4	5
2	塔山	5	塔山、桃園第二、谷戸、桃花、白桜	24	30	39	3	3	4
3	上高田	6	上高田、江古田、新井、江原、緑野平和の森	39	42	46	4	4	5
4	鷺宮	7	鷺宮、啓明、北原、武蔵台、西中野、上鷺宮、美鳩	38	43	49	5	5	5

#### （3）各校での取組

各校の校内委員会が定着し、学校として指導方針を検討する体制を整えた。

校内委員会の構成：校長、副校長、特別支援教育コーディネーター、担任教諭等

#### （4）巡回指導開始による成果

##### ①在籍校での個別指導

通級指導学級のように児童が在籍校を離れる負担がなく、在籍校で指導が受けられるようになり、利用児童が増加した。

##### ②指導の充実

在籍校において巡回指導教員が通常授業における指導や個別指導を行うことで、在籍の担任と巡回指導教員が連携し、児童の状況に応じた個別指導が充実した。

#### (5) 巡回指導に係る今後の課題

##### ①個別課題の明確化

巡回指導の目的は、児童の困難さを軽減、解消し、通常の学級での課題解決が図られるようにすることである。解決すべき課題を明確にした上で巡回指導を利用し、課題の解決後には指導を終了する流れを定着させる必要がある。

##### ②指導開始手続きの見直し

巡回指導が必要な児童が、できるだけ早期に指導を開始できるよう、利用までのしくみを工夫する必要がある。

#### (6) 巡回指導支援委員会の開催実績

年度	回数	審議件数	利用決定数
28	7	75	68
29	9	72	65

#### (7) 平成30年度巡回指導支援委員会の開催予定

開催方法を見直し、南北のエリアに分けて開催することとした。

	回数	開催月	開催校
南エリア	4	5月、7月、11月、1月	中野本郷・塔山
北エリア	4	5月、7月、11月、1月	上高田・鷺宮

#### 4. 発達に課題のある生徒に対する指導（中学校）

##### (1) 通級指導学級における指導

中野中学校に通級指導学級を設置し、発達に課題があり特別な教育的指導が必要な生徒を対象として指導を実施している。

中野中学校通級指導学級在籍生徒数・学級数（5月1日現在）

28年度	29年度	30年度
29人・3学級	24人・3学級	22人・3学級

##### (2) 中学校への特別支援教室及び巡回指導の導入

平成33年度当初までに中学校全校に特別支援教室を導入し、巡回指導を開始するための手順等の検討を行う。

## 5. 特別支援学級

### (1) 就学相談受付件数

	27年度	28年度	29年度
小学校	51	60	77
中学校	32	21	28
計	83	81	105

### (2) 特別支援学級在籍児童・生徒数

(5月1日現在)

	対象	学校名	学級名	28年度	29年度	30年度
固定学級	知的障害	桃園小	ひまわり学級	14人 (2学級)	9人 (2学級)	9人 (2学級)
		新井小	こだま学級	26人 (4学級)	29人 (4学級)	30人 (4学級)
		江原小	わかば学級	7人 (1学級)	10人 (2学級)	14人 (2学級)
		西中野小	しらさぎ学級	12人 (2学級)	18人 (3学級)	20人 (3学級)
		みなみの小	神明学級	—	9人 (2学級)	13人 (2学級)
		美鳩小	あおぞら学級	—	19人 (3学級)	23人 (3学級)
		第二中	I組	23人 (3学級)	18人 (3学級)	22人 (3学級)
		第四中	四葉学級	14人 (2学級)	12人 (2学級)	13人 (2学級)
		第七中	D組	25人 (4学級)	25人 (4学級)	21人 (3学級)
通級	難聴	桃花小	きこえとことばの 教室	3人 (1学級)	3人 (1学級)	3人 (1学級)
	言語障害			20人 (2学級)	38人 (2学級)	33人 (2学級)